

テーマ1「教育的コーチングと外国語教育」

テーマ2「スペイン語教育 tips 情報交換」

第 153 回関西スペイン語教授法ワークショップ (TADESKA) 例会

日時：2022 年 6 月 11 日 (土) 15:00 - 17:00

場所：Zoom を利用したオンライン開催

担当：江澤 照美

TEMA 1: "Coaching educativo y la enseñanza de las lenguas extranjeras"

TEMA 2: "Intercambio de "tips" de la enseñanza de E/LE"

CLIII Reunión del Taller de Didáctica de Español de Kansai (TADESKA)

Fecha y hora: Sábado, 11 de junio de 2022, de 15:00 a 17:00

Lugar: En línea (Zoom)

Moderadora): Terumi EZAWA

【実施報告】

テーマ1 「教育的コーチングと外国語教育」

まず、用語の定義をおこない、「コーチ」を「その活動を行う人」、「コーチング」を「指導術」の意味で使い分けることを確認した。

Zoom のチャット機能を利用して、参加者全員に ①「コーチ」「コーチング」と聞いてイメージする人やグループや活動 ②「コーチ」がおこなう活動を動詞または名詞で短く表現する を自由に書いてもらった。多くの参加者がイメージしたのはやはりスポーツや習い事の世界での個別指導などであった。

アメリカが発祥であるコーチングは日本でも人材育成手段の一つとして近年ビジネスの世界で注目されていて、実践的なコーチングについての関連書籍も次々に刊行されている。しかし、ビジネスの世界でのコーチングの応用とも言える教育的コーチングの研究について、少なくとも国内では発展途上の段階で今後の研究の充実を待つ必要があると本ワークショップ担当者は考えている。

他方ヨーロッパでの状況は少し異なり、特に 2001 年の CEFR 策定以降、言語使用者／学習者の学習能力に関わる分野、とりわけ学習者の心理や学習メカニズムに働きかける教育的コーチングの先行研究が増加し(スペインでは特に 2010 年あたりから)現在に至る。本ワークショップ担当者はそのような現状のほか、コーチングとティーチングの相違点、ビジネス・コーチングから派生した様々なコーチ

ング(特に教育的コーチングについての特徴などの概要を紹介した。2018 年の CEFR 増補版は Mediation(仲介行為)の重要性を明確にしたことで知られているが、教育的コーチングは Mediation の能力開発のある部分と関連しうることから、今後の研究の進展が待たれる。

最後に、教育的コーチングは日本の外国語教育に役立つか否かについて問題提起した。教育的コーチングでは 1 対 1 の個別指導に限定せず集団指導も考察の対象となる。しかし、教室現場では教師はティーチングに時間を割かないわけにいかないため、コーチング的な活動に時間を確保することの困難さが予想される。他方で近年実践例が増えているアクティブラーニングなどに教育的コーチング導入のヒントが見出される可能性についても示唆した。

この問題について参加者と議論を深めるための十分な時間は残念ながら残っていなかったが、コーチングの研修受講経験を持つ参加者からのコメントや教育的コーチングと関連付けられそうな活動についての示唆、この種の活動に関わる用語の確認など、参加者の方々より貴重なご意見をいただいた。

日本でのスペイン語教育はほとんどが初習者対象であるため、スペイン語教育従事者は必然的にティーチング中心に授業運営をすることになる。しかし、学生から個人的に質問を受ける、教室活動の活性化のために工夫する、など多少なりともコーチング的な活動もおこなっていることを思い起こせば、学習者の学ぶ意欲を何らかの形で促す教育的コーチングを個々の教師も意識しつつ学習者に対応する必要性があると言えよう。

=====

テーマ 2 「スペイン語教育 tips 情報交換」

まず tips という用語について解説。スペイン語でも *Fundéu RAE* が今年 4 月にこの語をとりあげている。さらに、ティーチング・チップスについての名古屋大学高等教育センターの取り組み(書籍と web サイト)を紹介した。

当初掲げた本ワークショップの趣旨は「私たちが日頃の授業の中で学生に伝えているスペイン語(圏)関連のミニ知識について情報を交換しましょう」であり、いわゆる「小ネタ」の情報交換を意図していたが、テーマ 1 で学習能力に言及したので、選択式で両方ともテーマとして扱うことに決め、Zoom のブレイクアウトルームを活用して 3 つのグループで話し合いをしてもらい、その後各グループで話し合ったことを全体で共有した。テーマは以下の通り。

- 1 ス페인語について学生に小さな気づきを与える小ネタ
- 2 ス페인語(または外国語)学習の秘訣

なお、話し合いを活性化させるため、1)2)ともに複数の「お題」を用意し、その中から自由に話題

を選んでもらった。

担当者が用意した「お題」は以下の通り。

- 1 ① 簡単なことわざ／日本で見つかるスペイン語
- ② スペイン語がうまい日本の有名人
- ③ 動詞の活用の覚え方
- ④ 多くの学生が読み方を間違える単語の例
- ⑤ 性数一致について学生に分かってもらえやすい例
- ⑥ できれば動画などで説明したほうがわかりやすい語彙／文化要素
- ⑦ 学生にポルトガル語にも興味を持たせるには？
- ⑧ Túとustedの使い分けの例
- ⑨ 覚えやすいスペイン語の名前
- 2 ① 外国語学習のこつ
- ② 時間がないときでも続けられるささやかな外国語学習
- ③ 自分一人でもできるスペイン語学習
- ④ 全般的に発音がうまくいかない学生へのアドバイス
- ⑤ 外国語を勉強する意義を卒業後にむすびつけてどのように説明するか
- ⑥ スペイン語を勉強するとお得であると学生に示す根拠
- ⑦ 英語だけでなく他の言語も知っておいたほうが良いという根拠
- ⑧ 学習態度が悪いわけではないがなぜか試験の結果はよくない学生へのアドバイス

各グループの意見交換の結果については以下の通り。

第1グループ ... 1のいくつかについて話し合った。

- ① 簡単なことわざ／日本で見つかるスペイン語
Tokyo **metro, plaza, karamucho**, tiendas con nombre en español)
- ② スペイン語がうまい日本の有名人 → Takefusa Kubo
- ③ 動詞の活用の覚え方
 - ・ Hay que memorizar. Se puede practicar con conversaciones, intentado recordar el momento en el que hay que utilizar una persona / conjugación concreta. Trabajo en parejas.
 - ・ Explicar lo que han aprendido acerca de las conjugaciones.
- ④ 多くの学生が読み方を間違える単語の例 Palabras con “j”
- ⑤ 性数一致について学生にわかってもらえやすい例 (Buenas tardes.などの挨拶)
- ⑥ できれば動画などで説明したほうがわかりやすい語彙／文化要素 例：besos

- ⑦ 学生にポルトガル語にも興味を持たせるには？
- ⑧ tú と usted の使い分けの例
- ⑨ 覚えやすいスペイン語の名前（有名人の名前と関連させる、など）

その他

*Pedir “por favor” a los estudiantes cuando queramos que hagan algo, no ordenar. Dar las gracias después de que lo hagan. Explicar los errores de forma amable. No pasa nada si nos equivocamos.

*Establecer un límite de tiempo estricto para terminar las tareas.

*Corregir la pronunciación en grupos pequeños. Pedirles que envíen archivos de audio para corregir la pronunciación.

第2グループ … 1の⑧について活発な意見交換が行われた

- ★地域の差が顕著である。スペインは明らかに tú が優勢。アメリカ地域では usted がもっと使われる。アンダルシア州では Madrid などより usted が使われやすい、というスペイン国内での地域差もみられる。なお、スペイン語話者人口の大半がアメリカ地域の人々であることを念頭に置くべき。
- ★スペインでは、人間関係は近づく方向がよく、日本では、距離を置く人間関係の方がスペインより好まれる。tú と usted の違いは関係の親疎であって、日本文化に見られるような上下関係ではない。
- ★日本人（学生含む）は、「自分の話し方が相手にとって失礼であってはいけない」と思って引き気味になりやすい。文化が違うのだ、と認識することが大切。
- ★日本の学生がスペイン人とスペイン語で話す場面で、対教員は tú、土産物屋・飲食店や宿で対従業員に tú。ただし、高級店・高級ホテルやレストランなど格式が重んじられる場では対従業員に usted。
- ★スペイン人の場合も、面識のない人に初めてメールを書く時には usted だが、まもなく tú になる。
- ★tú と usted で迷う場合、ふるまいとして一番自然なのは、どちらがいいか相手に率直にたずねる。日本人は話し方を相手にたずねるような習慣はないが、スペインでは普通。
- ★教室でこれらの区別を教える際にはロールプレイなど具体的なシチュエーションを与えて指導するのがよい。
- ★ネイティブの先生は、学生たちに「自分のことはこう呼んでほしい。tú（あるいは usted）で話してほしい」ということを明確に伝えるとよい。

第3グループ … 1と2両方いくつか選択して意見交換

- ・日本人学習者が間違えがちなケース紹介
- ・②入山杏奈(元 AKB)メキシコ留学をして、NHK ラ講出演、自身で YouTube 発信
 - 個人的には正直関心ない場合、どうしたらいいかな？
 - 自分より詳しい学生に紹介してもらおう。
 - 学生と共同作業で紹介(スペインのモータースポーツなど)
 - * コンスタントにやるのは大変なので、ほどほど/時間が余ったときなどに...

アニメ（SPY FAMILY, キャンディ・キャンディなどのスペイン語版）を動画で紹介
Netflix「ペーパーハウス」現代/口語表現がよく出てくる

- ・「活用覚えにくい」について → 聞き流す
- ・「ひたすらききましょう」という声かけ
- ・「活用」「月の名前」いえるかな？ゲームなどして、授業中に覚えるのを促す
→ 仕込みが大変。テンション上げるのも疲れるけど。
- ・2-⑦ 他の言語も知っておいた方がいいという根拠
→ 他国の例を紹介してみる。(韓国、オーストラリアの日本語学習、シンガポールの多言語学習の例)
- ・2-⑧ 試験の結果がついてこない学生へのアドバイス
→ 辞書使っていない、活用覚えていないなど、明確な
〈その他、雑感〉
- ・外国に行けない、という学生のモチベーション不足はひとつ障害になっている。
- ・必修/選択、文系/理系で学生の反応やモチベーションが違う
〈どうやって授業に組み込むか？〉
- ・動画なら5分くらい？
- ・時間は前半/中盤/後半？

以上

(文責 江澤 照美)